

二〇一九年度 C選考

国語 その一

□ 次の文を読んで、あととの問い合わせに答えなさい。解答に字数の指定がある場合は、句読点やかつことなどの記号も字数として数えます。

(設問の都合上、本文に一部表記を改めたところがあります。)

書物に対するとき、一番大切なのは、正直さと^①愛情でしよう。^a ベイボンきわまる話ですが、このあたりまえなことをするのがなかなか難しいのです。

愛情とは、書物に向かって何かを本気で求めることです。人を愛することは、ときには^{※致命的}な結果をともなう^bボウケンですが、書物を読むのも根本においては、それと同じ行為であるはずで、さもなければ、書物から彼らは害をうけることもなければ利益もうけることもあります。

ある書物の影響がぼくらの生活に害を与えるか利益を与えるかは、元来、その著者の知ったことではないので、彼はただ自分の感得した人生の真実の姿を描き、あるいは思想の形でそれを述べているだけです。

問題は、②その姿がぼくらに訴えてくれるかどうかということです。

(A) A ぼくらにそういう感化を与える書物は、ちょうどぼくらの生涯に大きな役割を演ずる友人や異性がそうであるように、出会ったはじめから、何か予感があるものです。しかし書物の弱点は、それが人間と違つて、自ら積極的に相手にはたらきかけず、形のできあがつた世界を守つて、そこに読者がはいつくるのを待つだけだと、う点にあります。

だから書物には、いつも^③相手の世界に積極的に踏み込むつもりで対すべきで、この^c遠慮の要らぬところが、読書の主要なおもしろみなのです

が、このとき一番大事なのは、正直であることです。人間と人間との交渉でも、正直が大切であることは、変わりありませんが、それでも利益や欲情がからめば、嘘をもとにした交渉もときには成り立ちます。

(B) 書物に対するときは、^d正直さをもたなければ、読書という行為そのものが意味を失うのです。[※]無論この場合は正直といつても自分自身に対するもので、つまりはそのとき感じたことについて、自分自身を^eいつわるな、ということですが、こんな簡単なことが案外難しいのは、だれしも経験するところでしょう。

その一番主な理由は、^④読書が現代ではいつも^fに支配される^⑤的行動のようなものになっているからです。ぼくらが本を読む動機は多くの場合、それについて人々と話す必要から、あるいは読まぬと[※]時勢におくれるという[※]顧慮からの場合が大部分ですが、こういう場合にある書物について人々と違つた意見をもつたとき、それを発表しておしとおすには、よほどの勇気と自信を要します。それでいつのまにか周囲の意見に[※]同化され、自分の感覚を捨ててしまうのが、ぼくらの[※]群居生活の本能では^(C)自然なのですが、^⑥これが読書の本質から見れば、ほとんど自殺的な[※]所業であるのは、これまで述べたところからも明らかでしょう。

(中村光夫『私の読書法』)

問 6 ④「正直さをもたなければ、読書という行為そのものが意味を失う」とありますが、「正直さ」とはどうすることを指していますか。「書物を読んだとき」に続くように本文中の語を用いて答えなさい。

※致命的：滅亡、失敗の原因となるさま。

※無論：言うまでもなく。もちろん。

※いつわる：事実を曲げて言う。だます。

※時勢：時代の移り変わる勢い。世のなりゆき。

※顧慮：あることも考えに入れて、気を配ること。

※同化：たがいに性質の違ったものが同じ性質にかわること。

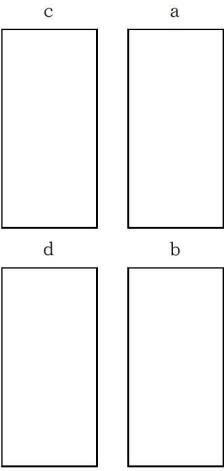
※群居：群がっていること。群がり住むこと

※所業：おこない、しわざ。

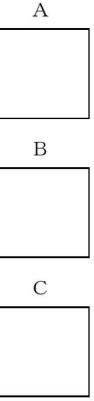
問 1 ॥ a～d について、カタカナは漢字で、漢字はその読みをひらがなで書きなさい。

問 2 (A)・(B)・(C)に入る語として最も適切なものを、次から選び、記号で答えなさい。

A つまり イ だから ウ しかし エ そして
オ あるいは カ むしろ



問 3 ①「愛情」とありますが、書物に対する「愛情」とはどんなものですか。本文中から二十字以内で抜き出して答えなさい。



問 4 ②「その姿」とはどういうことを指していますか。「書物の著者が描いた」に続くような語句を本文中から抜き出して十五字以内で答えなさい。

書物に著者が描いた（）。

問 5 ③「相手の世界に積極的に踏み込むつもりで対すべき」とあります。これは書物がどのような性質を持つからですか。本文中から五十字以内で探し、最初と最後の三字を抜き出しなさい。

最初 最後 性質。

問 6 ④「正直さをもたなければ、読書という行為そのものが意味を失う」とありますが、「正直さ」とはどうすることを指していますか。「書物を読んだとき」に続くように本文中の語を用いて答えなさい。

書物を読んだとき

二〇一九年度 C選考

国語
その三

問5 一③「何か」とあります、これはどのようなことを言つていますか。三十五字以内で答えなさい。

問6 一④「俺は黙って、守屋さんの横顔を見ていた。」とあります。このあと、連の表情の変化を見た「俺」は、どのように気がついたのですか。「ということ」につながるように、本文から二十字以内で抜き出して答えなさい。

ということ。

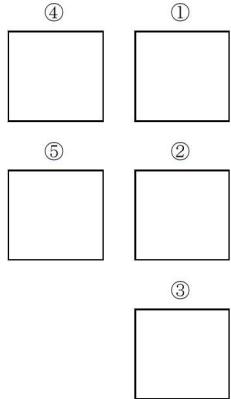
問7 一(5)『俺たちに任せてくれ、一ノ瀬。』守屋さんはきっぱりと言つた。とあります、ここで守屋さんが「きっぱり」と告げたのは何のためですか。最も適切なものを、次から選び、記号で答えなさい。

ア イ ウ
あきらめきれない連をあきらめさせるため。
部長としての威厳を部員たちに示すため。
先生に自分たちの意見をはつきり伝えるため。
大会に向か、リレメンの意気を高めるため。

1

〔三〕 次の①～⑤の熟語と同じ構成になつてゐるものと、あとのア～オの中から選び、記号で答えなさい。

- | | | | |
|---|----|---|----|
| ア | 未定 | ① | 取捨 |
| イ | 日照 | ② | 山頂 |
| ウ | 陰陽 | ③ | 産卵 |
| エ | 工 | ④ | 骨折 |
| オ | 就職 | ⑤ | 無理 |
| カ | 家業 | | |



四 次の①～⑤の言葉と似た意味の言葉をあとの中から選び、記号で答えなさい。

- | | | |
|--------------|-------------|----------|
| ア | 五十歩百歩 | ① |
| 月とすっぽん | 提灯に釣り鐘 | ④ |
| 紺屋の白袴 | | ② 医者の不養生 |
| オ | 蛇足 | ⑤ |
| イ | 無用の長物 | ③ 他山の石 |
| 人のふり見て我がふり直せ | ウ ディングリの背比べ | ② |